



研究協力園公開保育


南風原町立津嘉山幼稚園(濱元朝純園長)に本研究園、沖縄女子短期大学協働研究園を委託し、「自立心を育むための環境構成と援助の工夫～友達との関わりを通して～」をテーマに、名渡山よし乃講師から助言を受け、研究を進めています。当日は公開保育・保育研究会を通して島尻地区内の多くの保育者と学びを共有することができました。



<参観者感想>

- ・1つの遊びに没頭する時間が長く、繰り返し試行錯誤している子どもの姿がみられ、子ども達のやりたい・作りたい・遊びたいの声にしっかり答えている教師の姿や声かけに学ぶことがたくさんありました。
- ・教師の声かけ「どうしたらいいかな?」「なるほど〇〇さんがいいこと言ってるよお」等、子どものつぶやきを拾い、遊びを広げ(深め)ている様子がよかった。
- ・研究会に掲示された園内研修ポスターをみることでテーマの捉えや研究の流れが理解できました。研究会では他園と情報交換でき勉強になりました。

12月の主な予定

1	金	指導講師連絡会・検討会～12/8 しののめ教室教育相談～12/5 地区内適応教室合同工作教室
5	火	琉球舞踊クラブ 幼児教育自主講座③
6	水	島教連理事会
11	月	所内検討会 しののめチャレンジ登校～12/25
12	火	JICA交流
14	木	しののめ教室入室判定
15	金	しののめ教室科学実験教室
19	火	ミーティング 
22	金	年末清掃
28	木	仕事納め

所外研修(組合関連施設見学)

11月21日(水)、「汚泥再生処理センター(西原町)」「東部環境美化センター(与那原町)」「美らグリーン南城(南城市)」を見学しました。実際に施設を見学し、携わる方から話を聞くことで、環境に対する当事者意識や学校教育の重要性を実感する一日になりました。



【研究員の感想】

- 汚泥再生処理センターは生活に直結している施設なので子ども達にも知ってほしい場所だと思いました。資料やDVD等、小学生にも理解しやすい内容だったので、社会科の学習として取り組んでみたいです。
- 「普段とてもお世話になっているのに想像力が足りなかったな」と普段何気なく捨てるゴミを少しでも減らす努力ができていたかと反省しました。このぐらい・私ぐらいという一人一人の無責任な態度が結果的にゴミを増やしてしまいます。ごみ処理の学習を通して子どもたちにも環境保全への考え方を持ってもらいたいと思いました。
- 最終処分場では「ゴミ→灰→塩」のサイクルに驚きました。沖縄のごみ処理問題について知ることは、将来の社会を担う子ども達にとって必要なことだと改めて思いました。子ども達に施設見学で実際に感じてもらい、自分事として未来のためにどうすべきか一緒に考える授業をしたいです。

渡嘉敷幼稚園訪問

♪フォーン(船の汽笛)♪

「おかたづけの じかんだよお」園庭で遊んでいた子どもたちの声が聞こえます。

園庭遊び前に「フェリーの音が鳴ったらお片付けだよ」と保育者が声を掛け、見通しを持たせることで、子どもたちは船の汽笛に反応し、考えて行動・互いに声をかけ合う姿がありました。その地域の特色を生かしたステキな伝え方で子どもの自主性を育てている一場面でした。

園庭での虫取り、ごっこ遊び、水遊び、長縄遊び等、保育者の見取りで子ども同士の遊びをつなげ、深め、遊びを通して協同性を育みます。子どもは遊びを通して学びます。

こどもの「やりたい」を大事にしている渡嘉敷幼稚園です。

